

新著紹介

○地震

和達清夫著 鐵塔書院發行 定價一圓二十錢

地震に關する通俗乃至半通俗の良書は、從來とても決して乏しくはなかつた。更に一書をそのリストに加へ得る事は地震國々民として特に地學愛好者にとつて嬉しい。我等はともすれば此の若い活潑な科學の現知識から取殘される。本書は地震學の現發達階梯を知るに最も適當な書で、深發地震に就いて特に眼新しい記事に富み、地質學徒等にも是非一讀をすゝめたく思ふ。四六版二五二頁他に索引附の手頃さ、穩和な流暢な能文が一息に通讀させて了ふ。(尾山生)

○地政治學入門

阿部重郎著 古今書院發行 定價一圓八十錢

本書はリヒャルト・ヘニヒ及レオ・ケールホルツ共著地政學入門の邦譯である。地政治といふ語よりも政治地理學といふ方がよいかもしれない。本書はこの學の入門として史的發展地政學の概念、國家の生活形態、自然の政治地理學的考察、國家概念、國際運動の六章がしるされてゐる。簡單明快といふ二語を以て本書を評すればあやまりがないと信じる。

(藤田)

○皇陵圖誌

大阪北區相生町四四 佐藤佐平發行 定價五十錢

大阪に於ける郷土地圖家である佐藤氏は、尊王思想の涵養に必要な皇陵巡拜の契に歴代皇陵の地圖を印刷し、加ふるに參拜道程・車馬の便否を詳解したこの圖誌を刊行した。多數の皇陵誌の中に地圖を主とした本書は蓋し雞群の一鶴といふべきであらう。普及をはかつて定價も廉い。皇陵の分布略圖の外に各陵附近圖約十四版、美はしい地圖集となつてゐる。

(藤田)

雜報

○日本綿布の埃及市場進出

埃及方面に輸入せらるゝ

本邦綿布は外國品種に比して價格低廉なるに加へて其使用價值比較的大で良く當國の民度と大衆の嗜好に適し、且絶へず製品の改良工夫が行はれる結果、漸次其眞價を認められ、今日では「安からう、悪からう」などは云はれない。ことに埃及では永年の經濟不況で廉價品萬能時代になつたために邦品の進出、外國品の後退益々甚しくなつてきた。

其競争状態を概言すれば邦品は輕目物たると重目物たるとを問はず、普通品として需要多き部分では生地綿布より晒・反染・絲染・捺染等いづれも目醒しき進出で、ことに其生地が内